

お子さんにあった学校、学級は・・・

特別支援教室

教員が拠点校から各小学校を巡回し、児童が在籍している学校に設置された特別支援教室で指導を行います。児童は在籍している学校で、週に1回程度、小集団または個別に指導を受け、苦手としていることを克服・改善していきます。（在籍は通常の学級）

◇特別支援教室（情緒障害等）

拠点校	巡回校
第四小	第七小 成木小 吹上小
第六小	第一小 第五小
霞台小	新町小 若草小
友田小	第二小 河辺小
藤橋小	第三小 今井小



特別支援学級（固定学級）

学習活動の全部を小学校に設置された特別支援学級に在籍して指導を受けます。少人数の学級編成で、お子さんのペースや実態に合ったきめ細かな指導や支援を行います。

◇青梅市の特別支援学級

知的障害

第一小(びあじえ学級)
第三小(かすみ学級)
第四小(つくし学級)

自閉症・情緒障害

第二小(さくら組)
若草小(わかかさ学級)
吹上小(あおぞら学級)

特別支援学級（通級指導学級）

児童が週1～2回数時間程度、通級指導学級を設置している学校に通い、個別に指導を受け苦手なところを克服していきます。（在籍は通常の学級）

特別支援学校

視覚障害・聴覚障害・肢体不自由・病弱・知的障害等のあるお子さんが対象となる学校です。そのお子さんのもつ力を伸ばすために、個々のニーズに応じた指導や支援を行います。

◇都立特別支援学校

都立羽村特別支援学校（知的障害）
都立青峰学園（肢体不自由）
都立立川学園（聴覚障害）
都立八王子盲学校
都立光明学園（病弱）

◇青梅市の通級指導学級

言語障害・難聴（吃音等）
河辺小
（ことばときこえの教室）

小学校の支援体制は・・・

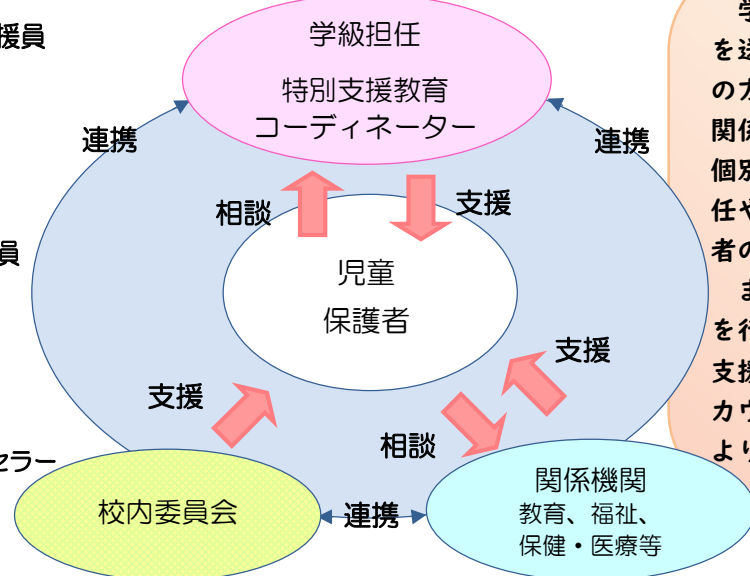
学校教育活動支援員



特別支援学級介護員



スクールカウンセラー



学校では、子どもたちが楽しい学校生活を送れるよう就学支援シートをもとに支援の方法を検討します。入学後には、保護者、関係機関と連携して学校生活支援シートや個別指導計画を作成します。学校では、担任や特別支援教育コーディネーターが保護者の相談窓口となります。

また、学校には子どもたちの日常の支援を行うために、学校教育活動支援員、特別支援学級（固定学級）の介護員、スクールカウンセラーが配置されています（学校により配置が異なります）。

楽しい学校生活を送るために

お子さんの発達で気になることはありませんか？



4月からは小学校^{※1}。今までとは違う新しい生活が待っています。期待が大きい反面、不安や心配もあるのではないのでしょうか。小学校では多くの友達と一緒に行動します。集団の中で楽しく過ごせるだろうか？そんな不安や心配がありましたら相談してみませんか。

（※1 小学校には通常の学級と特別支援学級があり、特別支援学校にも小学部があります。）

毎日の生活の中で、こんなことはありませんか？

こだわり

- ・着替えや食事の順番に強いこだわりがある。
- ・一度言い出したらきかず、気に入らないとパニックになって泣き出すことなどがある。



友達とのかかわり

- ・自分の言いたいことを一方的に話してしまう。
- ・集団が苦手でなかなか活動に参加することが難しい。



生活習慣

- ・一人で着替えられない、箸やスプーンが使えないなど、繰り返し教えても基本的な生活習慣が身に付かない。



興味

- ・新しい場所や、初めてのことに不安を感じ、パニックを起こす。
- ・人に興味を示さず、名前を呼んでも振り向かないなど、反応の乏しさが見られる。

心配なことを聞いてみましょう

今の健康状態やからだの動き、友達や周りの人との接し方、毎日の生活の中で気になること、学校に行くのに不安を感じていることを気軽に相談してみませんか。

青梅市

教育相談所
0428-23-2200
就学相談室
0428-25-1014
子ども家庭支援センター
0428-24-2126

東京都

西多摩保健所
0428-22-6141

都立

特別支援学校

羽村特別支援学校(知的)
042-554-0829
青峰学園(肢体不自由)
0428-32-3811

立川学園(聴覚)

042-523-1358
八王子盲学校(視覚)
042-623-3278
光明学園(病弱)
03-3323-8421

※各校の特別支援教育コーディネーターへご連絡ください



就学支援シートを活用してみませんか

子どもは一人一人個性があります。興味の持ち方やこだわり方、人とのかかわり方など様々です。小学校に入学すると、人や集団とのかかわりが増えていきます。子どもによっては、とまどいを感じることもあります。そのような時に周囲の大人たちの支援が必要となります。就学支援シートは小学校入学に向けて、幼稚園、保育所、療育機関や家庭などで今まで大切にしてきたことや、配慮してきたことを学校に引き継ぐシートです。子どもたちが楽しく学校生活を送ることができるよう、子どもに必要なと思われる支援の方法や配慮してほしいことを記入してください。作成する必要があるかお悩みの方は園の先生にご相談ください。

就学支援シートの内容

保護者 および 幼稚園・保育所記入欄 （一部抜粋）

（記入日：令和 年 月 日）		（記入日：令和 年 月 日）
内容		幼稚園・保育所から
健康・身体	・健康上の必要な配慮点 ・食事や排せつ、着替え、睡眠についての注意点 など 	・健康状態は良好。 ・大きな音が苦手ですが、すぐに声を掛けると落ち着くことができます。 ・食事は……………
	・人とのかかわり（大人、子ども） ・集団への参加の様子 ・意思・疎通の方法 ・コミュニケーション ・指示理解方法 など 	・お友達と仲良く遊べるが、楽しくなると言い方がきつくなる時がある。指摘をしたら直すことができます。 ・家では、その日の出来事をたくさん話してくれます。 ・集団の中では……………
性格・興味・関心	・性格の特徴 ・行動の特徴（多動性、衝動性、繊黙、指しゃぶり、爪かみ、不注意） ・好きなこと（得意なこと） ・嫌いなこと（苦手なこと） ・こだわり など 	・穏やかな性格。 ・好きなことは、車など乗り物が大好きで、乗り物の本を熱心に見ています。 ・嫌いなことは……………

就学支援シートは、入学後の児童に対する支援を進めるために有効に活用しております。

シートを引き継いだ小学校は、保護者との間で子どもの様子や配慮すべきことなどについて、共通理解が図りやすくなります。

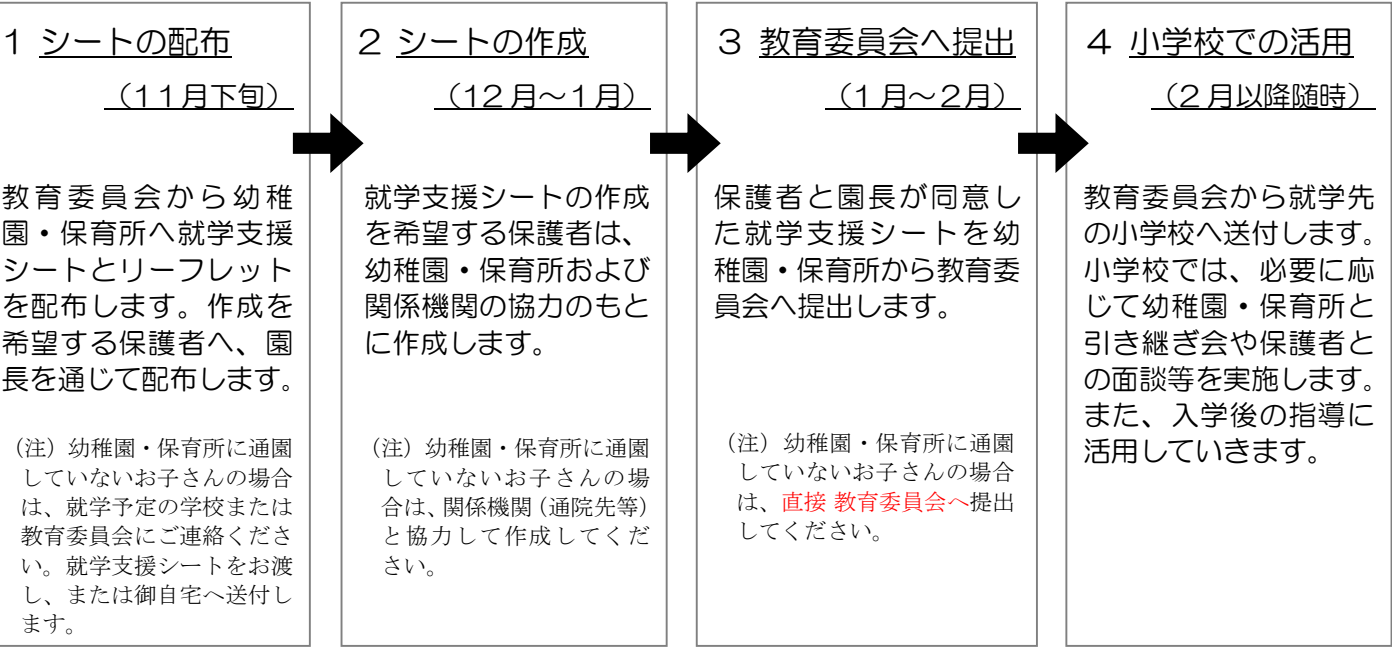
また、学校は、シートの内容をもとに、その子どもにあった無理のない支援の計画を立てたり、具体的な支援の手立てについて検討することができ、校内の支援体制を作りやすくなります。



就学支援シートに記入してもらいたいこと

1. お子さんのよいところ、伸びたところ、できること、得意なこと、好きなことなど、お子さんが楽しい学校生活を送ることのできるヒントを教えてください。
2. お子さんに合わせて工夫した指導内容や、教材、教具、言葉かけや補助の仕方など、お子さんが意欲的に取り組むことのできる環境作りや、工夫などについて教えてください。
3. お子さんがどうしても苦手なことや環境、情緒が不安定になったときの対応の方法など、学校生活において配慮が必要なことがあれば教えてください。
4. お子さんのよりよい成長発達のために、学校に入学してからも引き継いでほしいと思う内容などがあれば教えてください。

就学支援シート作成の流れ



留意点について

- 1 シートのすべての欄に記入しなくてもかまいません。
- 2 シートだけでは不十分と思われる場合には、必要に応じて関係書類（教材等の写真など）を添付していただいてもかまいません。
- 3 このシートは、就学校の希望調査ではありません。就学する学校が決まった後に提出してください。
- 4 小学校では、校長の管理のもとで、担当教諭等が活用します。
- 5 記載された個人情報については、入学後の個別指導計画等の作成や教育的支援を考える上で参考とする以外に使用しません。

楽しい学校生活



幼稚園・保育所等から小学校